



第107号

令和8年4月29日発行

社会福祉法人 慈生会 マ・メゾン光星
〒329-3224

栃木県那須郡那須町豊原乙1189

TEL:0287-77-1013 / FAX:0287-77-0996

URL:https://www.m-kousei.org/wwwhome/

E-mail:kousei@jiseikai.jp



新たな支援体制の始まり

マ・メゾン光星 施設長 小野崎孝史



春の訪れとともに、新たな年度が始まりました。皆さまにおかれましては、日頃より当施設の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度は、多くの方々のおかげで「支援のもと、ご利用者の皆さまが心身の健康を保ちながら、それぞれの個性や強みを大切に、日々の生活や外出、旅行、社会参加などを通じて、笑顔あふれる時間を重ねることができました。ことを、大変嬉しく思っております。

新たな年度を迎え、ご利用者の皆さまが安心して自分らしい生活を送ることができるよう、職員一同、改めて気持ちを引き締め、支援に取り組んでまいります。

近年、障害者入所施設を取り巻く環境は大きく変化しております。中でも、「利用者の高齢化」と「障害の重度化（特に強度行動障害）」は、日本の障害福祉現場において非常に大きな課題となっており、当施設においても例外ではありません。

高齢化に伴う身体機能の低下（転倒や嚥下障害など）、認知症の併発、医療的ケアの必要性の増加が見られる一方、障害の重度化においては、特に強度行動障害のあるご利用者に、自傷行為や他害行為、物の破損、強いこだわりなどが頻繁に見られる状況があり、支援体制の見直しと住環境の整備が喫緊の課題となっております。

これまで当施設は、3つの居住区（ファミリ―）で運営してまいりましたが、特に強度行動障害のあるご利用者が生活される環境においては、多人数での生活の中で様々な課題が生じておりました。

強度行動障害のある方への支援は、単に行動を抑えることではなく、その方の特性や背景を

理解し、安心して生活できる環境を整えることが重要です。

具体的には、刺激の軽減（音・人の多さ・光）、見通しを持てる工夫（スケジュールの視覚化）、安心できる空間の確保など、個々に応じた環境づくりが求められます。

こうした課題に対応するため、専門委員会を立ち上げ、支援の方向性について検討を重ねてまいりました。

その結果、本年度より従来の3つの居住区体制（ファミリ―）を見直し、障害特性に応じた目的別ユニットによる5棟体制（あおぞら棟・にじ棟・やまびこ棟・かがやき棟・めぐみ棟）へ移行いたします。

このうち、かがやき棟を自閉症および強度行動障害のあるご利用者の専門支援ユニットと位置づけ、住環境整備（ハード面）と生活全般の支援（ソフト面）の両面から検討を進め、チーム支援を基盤とした、より専門性の高い支援の実施により、ご利用者の生活の質および支援の質の向上を目指してまいります。

本年度も引き続き、「その人らしさ」を尊重した支援を基本に、ご利用者の皆さまがより豊かに生活できるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

また、ご家族や地域の皆さまとのつながりを大切にし、開かれた施設運営を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



カトリック コーナー

ハッピーイースター!!



マ・メゾン光星では、イエス様の復活を祝う復活祭を迎えるまでの期間、四旬節に目標を掲げ、今年はその目標と併せて、歌の練習にも取り組みました。

『ごらんよ空の鳥』・・・「聞いたことはあるけれど、歌うのは難しい」利用者はもちろん職員も不安でしたが、夕の祈りの際、四旬節の目標を今日一日実践できたか振り返り、皆で一か月間歌の練習を続けました。

ミサ当日は「サビのタイミングはつちり」で皆で心を一つにして「歌」を紡ぐことができました。

記：山田崇介



家族会だより

通所・入所を合わせると、20年以上施設を利用し、お世話になっていきます。入所は4月から3年目に入り、息子は2つ目の家で生活しています。

幼少期からのことを思い出すと、今の日常を送れていることが、不思議



と思える時があります。また、沢山のサポートを受け経験を重ねる中で、我慢(?)や頑張ること、少しでも相手を思いやる気持ちが育まれてきたと感じています。

そして今も、大好きなヒコキの本や写真を手に、マ・メゾン光星の中をニコニコ顔で動き回っています。笑顔が続くことを願い、見守っていますね。

家族会 津田まゆみ



新体制がスタートしました!!

～年齢、障害特性に応じた棟体制での生活支援を実施し、

生活の質と支援の質の向上を目指します～

各棟の責任者

やまびこ棟 津田可奈



かがやき棟 近藤英樹



にじ棟 田野昌弘



あおぞら棟 関口雅也



めぐみ棟 井上友美



令和
8年度
より

『マ・メゾン光星』の思い

今年三月に退職し、五十二年に及ぶ知的障がい者との仕事に従事できたことは、ひとえに慈生会のシスター、利用者と保護者、職員の皆さんのおかげだと感謝を申し上げます。

昭和四十九年三月、黒磯駅からバスに乗り夕狩で下車し、山道をトボトボ歩き迷いながら『松風荘』に入職しました。初めて、精神薄弱者といわれている人達と関わりを持ち始めましたが驚きの連続でした。

先輩の指示は通るのに、新人の私の指示は全く通らない時もありましたが、いろいろな作業を通して仕事を覚え、利用者と一緒に活動をする事でラポートがつくようになりました。

その頃は、まだ研修することや専門書が少なかったので、どう支援したら良いのかと悩むことも多々ありました。

それでも年間を通して行事が多く、家庭的な雰囲気の中で利用者も職員も一緒になって規律ある生活をして育っていききました。このことが私の原点になっています。

昭和五十一年に、成人施設『光星学園』になりました。児童施設の定員が減り続けたからです。若い利用者が増え作業規模も大きくなり、収益を目指す授産施設となりました。

同時に、宮内庁からいただいた土地を管理しようという意識が生まれた気がします。が、今では敷地全体を知らない職員が多くなってきました。個人的には大きな自然の中で関心を持ち環境を生かした活動をやって欲しいと思います。時代と共に法律



も変わっていき、施設も変わっていきま
す。今度は『マ・メゾン光星』の名称に
なり、高齢化、重度化の問題と親の亡
きあとのテーマが出てきました。そし
て今や現実になっています。職員は「夢
の途中」と言わず創立者の夢を忘れ
ず利用者と共に生きる姿勢を貫き通
して欲しいと願っています。

私は「クマ」と呼ばれましたが、利用
者と一緒に生活することができ、仲間
の一人になってきたことに感謝します。
利用者のおかげで人間的に成長出来
ました。実感です。

長い間一緒にやってきた利用者との
別れは少し辛かったが、楽しかった五
十年でした。

最後に、いろいろな法律や形態は、こ
れから変容していくと思いますが、人
との関わりは不変です。

職員の皆さんが、いつもポジティブに
考え明るく元氣であるようお祈り申
し上げます。

本当に五十年間お世話になりました。と
うございました。 元職員 平橋誠次

自治会便り



3月19日（木）と22日（日）

に那須町長選挙及び那須町議会議員補欠選挙に行つてきました。役所の方の誘導に従い慣れた様子で、文字を書くことが難しい方でも指差し等で投票することが出来ました。また、初めての利用者さんも落ち着いて投票することが出来ました。自治会では、自治会役員メンバーの自主的な活動を大切にし、様々な活動のサポートが出来るよう職員も利用者さんの話を聴いて取り組んでいきたいと思っています。

記：堀井由佳里



投票箱



お花見



ひかりF

4月6日（月）、例年よりも桜の開花が早いというニュースの報道もあったので、早めに花見を企画しました。桜の咲き始めの中での花見になりましたが、穏やかな陽気の中、おいしいお弁当をみんなで囲むことができました。

記：関口雅也



通所

4月10日（金）、通所部のお花見を行いました。当日はあいにくの雨でしたので、通所部で給食のお弁当を食べ、午後はおやつ購入の外出をしました。南湖公園では団子を購入し、その後イオンで買い物、マクドナルドでおやつを食べて帰りました。花より団子な通所部お花見でした。

記：早乙女智



紙相撲大会



「東くしい、かじりぬ」

「西くしい、白髪狼」

「はっけよい」

「のこった のこった」

みこころホールに歓声が響き渡る。2月3日午後、「マ・メゾン光星紙相撲大会節分場所」を冬場のレクリエーションの一つとして開催しました。各部署を勝ち上がった代表力士3体（先鋒・中堅・大将）による団体トーナメントで熱戦が繰り広げられた。

結果、各賞、左記の通り。

優勝 めぐみF

準優勝 通所部

三位 事務所・医務

優秀 デザイン賞 給食

優秀 しこ名賞 通所部

優秀 応援賞 ひかりF

優秀 技能(トント)賞 へいわF

審判 長特別賞 めぐみF



記…斎藤透



もうひとつの美術館

「繰り返し」の極意Ⅱ」もうひとつの美術館で鈴木郁美さん・斉藤宏幸さん・柳剛さんの作品が6月14日まで展示されています。マ・メゾン光星の素晴らしい作家さんたちの作品を、ぜひ見にいましてください。

【住所】那須郡那珂川町小口118-2
【電話】0287-19218088



繰り返しの極意Ⅱ

那須郡那珂川町小口118-2
3月19日[木]
6月14日[日]
10:00~17:00 (入場無料)
もうひとつの美術館

お知らせ

★ウォークラリー開催!

オリエンテーリング改め、ウォークラリーを6月6日(土)に開催します。この機会に交流を深め、大自然の中を楽しく歩いてリフレッシュしましょう。チームやみなで協力するチャレンジ企画も計画中です。
記:内山美鈴



♡ ボランティア しませんか?

マ・メゾン光星では、障害を持つ利用者さんと寄り添いながら、幅広い場面でお手伝いしていただけるボランティアを募集しています。

○陶芸、手織り、居酒屋、書道、華道などの療法活動ボランティア

○ウォークラリー、夏祭り、光星祭、演舞会などを手伝うイベントボランティア

○傾聴、読み聞かせ、利用者サポートなどをする寄り添いボランティア

○歌やダンス、体操、マジックなどを発表するステージボランティア

○パンやお菓子作り、ログ喫茶をお手伝いするクッキングボランティア 等々

あなたの特技と時間を活かして、私たちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

ボランティア委員会 大平雅士

新任職員紹介

○あおぞら棟

伊藤友美 さん

以前は奈良県で生活支援員をしていました。支援では「丁寧」を心掛けています。よろしく願いいたします。

○めぐみ棟

宮本智子 さん

以前は訪問介護の仕事をしていました。マ・メゾン光星でのいろいろな行事や外活動がとても楽しみです。よろしく願いいたします。

○通所

高久美由紀 さん

こちらで働けるご縁に感謝しています。利用者様と共に楽しみながら、心地良い毎日を過ごせるようお手伝いさせていただきます。

退職者

この春、3名の方が退職されました。今まで、大変ありがとうございました。

平橋誠次 さん

田中喜一 さん

小笠原乃里子 さん



編集後記

春の訪れと共に新年度が始まりました。皆でアイデアを出し合い、心待ちにされるような広報紙をお届けしたいと思っています。

記:細井真人

